

みんなで創り上げた美しい音楽 みんなで感じた楽しい音楽

足柄上郡小学校音楽会（11月2日 松田町民文化センター）4・5年生

11月2日（金）、気持ちよい秋晴れのもと、松田町民文化センターにおいて足柄上郡小学校音楽会が開催され、4年生と5年生が出場しました。体育館よりかなり広々とした会場、到着したどの学校の児童も、このステージを見て驚きと緊張の様子を見せていました。相和小学校が披露したのは、合唱「ふるさと」、合奏「君の瞳に恋してる」の2曲です。

合唱「ふるさと」では、次のような歌詞があります。

「助け合える友との思い出を いつまでも大切にしたい」

「忘れられない歌がそこにある 手と手つないで口ずさむ

山も風も海の色も 君のふるさと ぼくのふるさと ここはふるさと」

聴いていると、相和の風景や相和っ子の日常と笑顔が目には浮かびます。自分たちの「ふるさと」をきれいな歌声とハーモニー、そしてそれを表現しようとする一人一人の表情は、聴いている人に感動を与えるすばらしい合唱でした。会場全体が、優しく心地よい素敵な雰囲気になりました。

合奏「君の瞳に恋してる」では、それぞれの楽器の特長が活かせるよう、指揮をする先生に集中し、音の強弱・重なり等に気を配り、心をつ一つにして曲を創り上げることができました。会場全体が楽しい雰囲気になり、軽快なリズムに体を合わせながら聴いている人もいました。自分のパートを主張しながらも、みんなと調和して曲を創り上げた合奏となりました。

最後に、相和小5年生のAさんが、児童代表のことばを、これまでの取組みをふり返り、この音楽会で学んだことを今後に生かしたいと堂々と発表しました。

音楽会の作文から（抜粋）

5年 B

相和小学校の代表の4・5年生はいろいろなことを乗り越えてきたから、音楽会でもよい演奏ができたと思う。きっと他の学校の代表も相和小と同じぐらい練習していて、いろいろなことを乗り越えてきたと思う。だから、私が考える「拍手」の意味は、がんばってきた仲間や友達に送るメッセージだと思う。「すごかったよ」「よかったよ」など、言葉に表さなくても、そんな言葉が聞こえてくると思った。



収穫の喜び ～協力する楽しさと お世話になった人への感謝とともに～

収穫祭（学校公開）10月26日（金）

この日の朝、1～4年生は、焼き芋の準備（さつまいもをぬれ新聞・アルミ箔で包む）をしました。4年生がリーダーとなり、作業の手順を説明すると1～3年生は真剣にそれを見ていました。その時間、5・6年生は、校庭で薪の準備をしました。相和っ子班2グループずつ一緒になって薪を組んでいました。これまでの経験で、薪が燃えやすいようにと考えていました。それに加えて、見た目にもこだわり、なかなかの芸術性があり、火をつけるのが惜しいぐらいの出来映えでした。

昼には、早めに6年生が薪にマッチで点火をし、焼き芋に適した火の状態を作りました。給食後に、全校が校庭に集合し、相和っ子班による栽培活動の集大成、収穫祭が始まりました。

今年も各班の1・6年生による「おもろいも」の紹介がありました。どの班もアイデアたっぷりに楽しく紹介されました。1年生の精一杯の発表と、その様子を優しく見守る6年生の姿、毎年同じような光景ですが、子どもたちの立場が一つずつ進み、成長を実感できる光景です。

このあと、さつまいものつるや落ち葉を使って班ごとに「イモアート」を作り、さつまいものつるで長縄跳びをして楽しみました。最後においしく焼き上がった焼き芋をほおぼる笑顔がたくさん見られました。

さつまいもの苗を毎年提供していただいているCさん、畑を貸していただいたDさん、薪を提供していただいたEさん、畑を耕し様々なアドバイスをいただいたFさん、猛暑の夏に職員が水やりをしていると、「うちの水を使って」と声をかけてくださった近所の方、その他たくさんの（卒業生も含めた）地域・保護者の方たちの多大なる御協力をいただくことで、今年も無事に実施することができました。深く感謝いたします。



落ちてこない・たおれてこないところにすばやく避難 第3回避難訓練（地震）

11月1日（木）の昼休みに、避難訓練を行いました。今回の避難訓練は、「近いうちにどんな時間になるかはわからないが、地震発生時の放送をする。そうしたら、その場で適切な避難行動をとる。」という訓練です。

給食後、子どもたちは自由な時間を過ごしていると、「（訓練、訓練）ただいま、大きな地震が発生しました」との校内放送が流れました。校庭で遊んでいた子どもたちは、身を低くして校庭の中央に集まりました。教室で過ごしていた子どもたちはすぐさま机の下にもぐり、机が動かないように手でしっか

りとおさえていました。中には、友達が先に入った机に潜り込もうとして入りきれずにいる子どももいました。それでも、自分の頭部を保護しようとしていました。

地震はいつ起きるか分かりません。そのとき居合わせた状況で、最善の方法で身を守ることが大切です。

